

とちぎ  
2005

# 県政のあゆみ

2006年 3月号別冊

2006年3月1日発行  
編集・発行：栃木県広報協会

県のホームページ  
<http://www.pref.tochigi.jp/>





## 自慢の農産物をつぎつぎ海外へ

とちおとめ、巨峰、にっこりが好評

品質の良い日本の農産物への関心が海外で高まってきている中で、とちぎブランド農産物を輸出する取組が進められています。1月にはいちご「とちおとめ」、6月にはぶどう「巨峰」が香港へ、11月には香港に加え、タイや台湾へもなし「にっこり」が輸出されました。現地では、いずれも品質が良好と好評を博し、売れ行きも好調で、さらなる販路拡大やブランドイメージの向上が期待されています。



## 農山村の地域資源を次世代に

「とちぎ夢大地応援団」を設立

県は、農山村に暮らす人びとと都市に暮らす人びとが一緒になって、農山村の美しい景観など、地域資源の保全活動を行う「とちぎ夢大地応援団」を1月20日に設立しました。05年は、那須町や茂木町など県内4か所で、のべ約120人のボランティアの参加を得て保全活動を行いました。



## 56年の歴史に幕

県営宇都宮競馬が開場

1948年開催以来、多くの県民に健全娯楽として親しまれてきた県営宇都宮競馬が、3月14日、56年間の歴史に幕を下ろしました。この日は約6700人のファンが朝早くから訪れ、最後の別れを惜しみました。全レース終了後、「開場セレモニー」が行われ、最後にはこれまで関係者しか立ち入ることのできなかった馬場走路がファンに開放されました。騎手と握手をしたり走路を歩いたり、人の群れは長い間消えることはありませんでした。





### 3つの新しい県立高校が開校

県立高等学校再編スタート

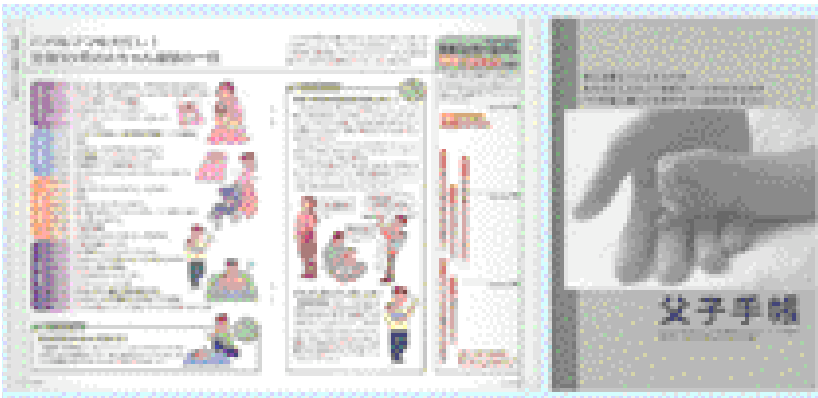
4月に「県立高等学校基本計画」（10か年計画）がスタートし、「日光明峰高等学校」「益子芳星高等学校」「学悠館高等学校」の3つの県立高校が開校しました。「日光明峰高等学校」は足尾高校と日光高校の統合校として、「益子芳星高等学校」は芳賀高校と益子高校の統合校として、また「学悠館高等学校」は本県初のフレックス・ハイスクールとして誕生。それぞれ、地域に根ざした学校として、特色ある教育を行っていきます。（写真は学悠館高校）



### 父親の育児参加を促進

お父さんに「父子手帳」を配布

県は4月1日から、父親の育児参加促進のため、妊娠届けを市町村の窓口へ提出した際、母子健康手帳と一緒に「父子手帳」を配布しています。A5版32ページの小冊子で、父親への子育てアドバイスや先輩パパからのメッセージなどが記載されています。また、子どもの成長記録や子どもとの思い出などを自分で記入していくと、わが子の育児日記になる手帳です。



### 渋滞緩和や杉並木保護も

都市計画道路大谷川右岸線が全面開通

整備を進めていた日光だいや川公園から日光市七里までの区間についてバイパス工事が完了し、4月14日に全線開通しました。同路線は県営都市公園である日光だいや川公園へのアクセス道路であるとともに、日光市と今市市とを結ぶ、国道119号のバイパス機能を持つ幹線道路です。開通により①日光だいや川公園へのアクセスが向上しました②「とちぎの道づくりの基本方針」における対策が必要な「主要渋滞ポイント」である春日町交差点の渋滞が緩和されました。③国道119号沿道へ排出される大気汚染物質が減少し、杉並木の保護に寄りました。





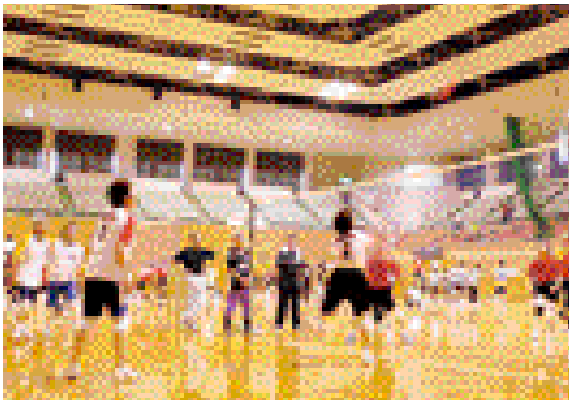
## 「文化・創作体験エリア」がオープン 日光だいや川公園

「日光の自然と悠久の歴史・文化へのいざない」を基本テーマにした日光だいや川公園に、新たに「文化・創作体験エリア」がオープンし、地元日光地域の歴史や、食文化などを体験しながら楽しめるようになりました。このエリアにある体験学習施設には、日光東照宮の精巧な模型を無料展示するとともに、伝統工芸や園内で栽培した農作物を使った料理などが体験できます。また、エリア内では炭焼きや農作業などの体験講座も行われています。



## 高齢者の祭典に8000人 「ねんりんピックとちぎ」

とちぎ健康の森・宇都宮市内の競技施設などを会場として、5月27日・28日に「健康・生きがいフェスティバル」、29日に「スポーツ・文化交流大会」が開催されました。三笑亭夢之助さんの記念講演や、日本画をはじめとするシルバークリフト品展、卓球や将棋など17種目の競技大会などさまざまなイベントが行われ、県内各地から参加された高齢者が日頃の鍛錬や努力の成果を披露するとともに、地域・世代を超えた交流の場として盛り上がりました。



## 愛知万博・ジャパNDERに出演 リズムスクール

6月6日、愛知県で開催された「愛・地球博」に本県「リズムスクール」の小・中・高校生が出演。EXPOドームを舞台に、サクソ奏者の渡辺貞夫さんと一緒に息のあった演奏を披露し、「とちぎの元気」を発信しました。渡辺貞夫さんを講師に迎え、リズムとコーラスの指導を受ける「リズムスクール」は、95年に本県で開催された国民文化祭をきっかけに始まったもの。10年目を迎えた今年、その活動は大きく広がっています。



## 地域のふれあいを求めて

「県民の日」制定20周年

「県民の日」が制定され20周年を迎えました。今年の県民の日記念イベントは、6月11日と12日に真岡市の井頭公園で開催されました。会場では、郷土芸能などの催しものほか、ウォークラリー、市町村などの出展コーナー、フリーマーケットなどが行われ、9万人の人たちでにぎわいました。また、12日には県総合文化センターで20周年記念行事として、県民参加型の創作オペラ「日光」が多くの人の来場のもと上演されました。



## とちぎの魅力をPR

愛・地球博「栃木県の日」

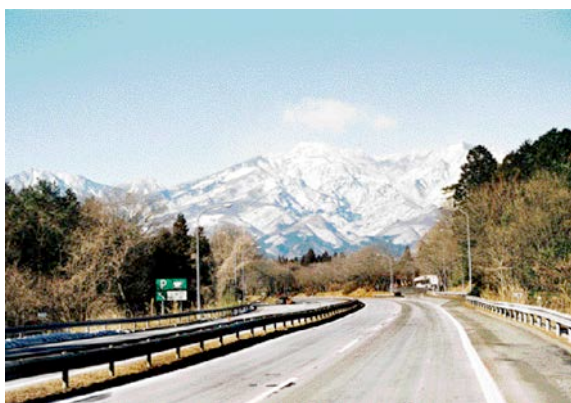
6月17日、愛・地球博EXPOホールで「栃木県の日」と題して本県のPRイベントが開催されました。ステージでは、本県出身のガッツ石松さんと福田知事とのスペシャルトークが行われ、会場内は、終始笑いに包まれました。また、各観光地の紹介とともに、白面金毛九尾狐太鼓（那須町）、日光杉並木太鼓（今市市）の演奏や県の特産品が当たる抽選会、観光PRなども行われ、多くの人たちに本県を印象づける1日となりました。



## 地域に親しまれ、利用しやすい道路へ

日光宇都宮道路

東北自動車道宇都宮インターチェンジから日光市清滝を結ぶ日光宇都宮道路が、6月28日に日本道路公団（現東日本高速道路株）から栃木県道路公社に引き継ぎが行われました。通行料金を約半額にするなど、身近な道路として生まれ変わりました。さらに、地域に愛され、親しまれる道路として愛称を募集したところ「日光道」に決定しました。今後も利用しやすい道路としてサービス向上に取り組んでまいります。





## 発達障害者や家族を支援 発達障害者支援センター「ふぉーゆう」

7月1日、とちぎリハビリテーションセンター内に発達障害者支援センター「ふぉーゆう」がオープンしました。「ふぉーゆう」では発達障害に関する不安を持つ方やご家族が、安心して充実した生活が送れるように、発達障害に関する相談に応じ、関係機関との連携のもと、課題解決に向けたさまざまな支援を行っています。



## 被害者やその家族をサポート (社)被害者支援センターとちぎ

7月1日、宇都宮市桜2丁目の県庁桜別館で、「社団法人被害者支援センターとちぎ」が業務を開始しました。センターでは、犯罪被害者やその家族の方々が抱える悩みや不安を解消し、一日も早く平穏な日常生活を取り戻すことができるように、専門的訓練を積んだ相談員が面接・電話相談・法廷付き添いなど多様な支援を行います。  
●相談専用電話028(643)3940  
午前10時～午後4時  
(月～金)



## 本県と香港との経済交流を強化 香港経済貿易代表部首席代表が来県

7月8日、在東京香港経済貿易代表部の方(フォン)首席代表が福田知事を表敬訪問し、香港向けに輸出された本県産の梨「にっこり」やイチゴ「とちおとめ」のテストマーケティングの成功に対して、歓迎の意を表されました。また、本県から香港へ進出している企業も多いことから、今後とも本県と香港の経済交流を一層深めていくことで両者が一致しました。







## 知事と県政の課題テーマに対話

### とちぎ元気フォーラム

県民の皆さんと知事が県政の課題などについて直接対話する「とちぎ元気フォーラム」が、8月27日に足利市民会館で開催されました。152人が参加し、高齢対策や少子化対策、医療対策、防犯対策などについて、活発な意見交換が行われました。05年は、県内8つの地域や2つの大学で、元気フォーラムを10回開催し、延べ1377人が参加、520件の貴重な意見や提案をいただきました。



## 県内の小中高生がミュージカルを熱演

### 「ファームフェスタ」を前に3会場

「とちぎファームフェスタ2005」で公演される、県民参加ミュージカル「ひとしずくのミルク」の事前公演が県内3会場（9月3日県総合文化センター、9月25日足利市民会館、10月9日那須塩原市黒磯文化会館）で行われました。「ミルクの国とちぎ」を舞台に、酪農家の娘が仲間や牛たちとの触れ合いをおして成長していく姿を子どもたちの元気いっぱいこの歌と踊りで表現し、3会場あわせて300人以上の観客を魅了しました。



## 児童虐待の未然防止をめざして

### 児童虐待に関するシンポジウム

県は、年々増加している児童虐待の未然防止や早期発見について考えようと、9月12日に「児童虐待に関するシンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、地域で活躍している方や医療関係者など、さまざまな立場の方から活発な意見が出されました。また、最後に「虐待をさせない、見過ごさない」を合い言葉にした、児童虐待防止宣言を満場一致で採択し、社会全体で子どもたちの生命と安全を守ることを確認しました。





## 100歳の古橋タマさんに祝詞

知事が長寿を祝い訪問

9月15日に、福田知事は、今年度で100歳を迎えた河内町在住の古橋タマさんを訪問し、長寿を祝いました。明治38年生まれのお古橋さんの健康の秘訣は、「よくよくしないで、なんでもよく食べる」と「だそうです。「みなさんにお世話になり、ただありがたい」と話してくださいました。福田知事は、「タマさんから元気をもらいました」と握手を交わしました。



## 広がるスポーツの楽しさ

県民スポーツレクリエーションフェスティバル

9月17日に県総合教育センターで行われた「総合開会式」に続き、9月25日、10月2日には「県民スポーツ大会」が、10月23日には「レクリエーションフェスティバル in 南那須」が開催されました。総合開会式では元オリンピック選手による記念講演会が行われました。県民スポーツ大会では市町村対抗で22競技が、レクリエーションフェスティバル in 南那須では、キンボールやグラウンド・ゴルフなどの大会が開催され、のべ約4万人が参加しました。



## 身近なことから人権を考えよう

ヒューマンフェスタとちぎ

10月1日と2日の2日間、人権啓発フェスティバル「ヒューマンフェスタとちぎ2005」(法務省、本県などが主催)をマロニエプラザと宇都宮市体育館で開催しました。会場では、人権をより身近に感じてもらうため、講演会、シンポジウム、資料展、コンサート、人形劇、映画会、人権移動ライブラリー、物産展などの多彩なイベントを行い、県内や全国各地から3万8000人が訪れ、大いにぎわいました。



## 県内消防応援体制の連携を強化

### 県広域消防応援訓練

県と県内全消防本部の参加による「栃木県広域消防応援訓練」を10月5日、小山市で実施しました。この訓練は、単独の消防本部では対応困難な大規模災害などが発生した際の応援部隊の連携の確保と広域応援体制の確立を図ることを目的としたものです。昨年に引き続き2度目となる今回は、県と県内15消防本部から227人が参加。小山市内の踏切内で列車とタンクローリーの衝突事故が発生したという想定のもと、本番さながらの消防活動を展開しました。



## 熱い情熱を燃やして

### 県障害者スポーツ大会

10月8日、第1回栃木県障害者スポーツ大会が県総合運動公園などで開催されました。この大会は昨年まで別々に開催されていた身体障害者と知的障害者の大会を統合し、県内最大の障害者スポーツ大会として新たに開催されました。当日は2000人を超える選手が参加し、たくさんの声援を受けながら、陸上競技やフライングディスクなど8種目の競技に汗を流しました。



## ひとに・まちに・自然にやさしく

### とちぎ住宅フェア

「ひとに・まちに・自然にやさしく」をメインテーマに、10月14日から16日までの3日間「とちぎ住宅フェア2005」をマロニエプラザで開催しました。今年で21回目を迎えた当フェアには約2万4000人が訪れ、好評のうちに終了しました。また『森の恵みのなかに住む』をテーマにした企画展示では、木特有の「温もりある家づくり」を提案し、各種催し物とともにフェアを盛り上げました。



## 創立100周年を記念し式典

県農業大学校



農業大学校は次代を担う青年農業者の育成に力を注ぎ、これまで1万人以上の卒業生を輩出して、県内農業の振興や発展に貢献しています。その創立100周年を祝う記念式典が、10月14日に開催されました。式には、福田知事をはじめ同窓生、関係者など560人が出席し、今後のさらなる活躍への期待と決意を新たにしました。

## 地産地消の輪が広がる

とちぎ地産地消の集い



10月18日、とちぎ地産地消県民運動の推進の一環として「とちぎ地産地消の集い」が約600人の参加を得て、開催されました。会場では、今年度初めて設けられた地産地消に意欲的に取り組んでいる団体を表彰する「とちぎ地産地消夢大賞」の表彰式が行われ、県内の3つのグループに表彰状が手渡されました。

## 県のキャッチフレーズが決まりました

とちぎづくりの合言葉

県民のみなさんとともに進める「とちぎ」づくりの合言葉として、公募により『いいひと いいこと つぎつぎ』と「とちぎ」をキャッチフレーズに決定し、10月19日に公表しました。『いいひと』は、誠実・勤勉で人柄が良く人情味のある県民性や、未来に向かって「とちぎ」づくりに挑戦していく人。『いいこと』は、住む人にとっても訪れる人にとっても、うれしくなることや楽しくなること、そして感動すること。『つぎつぎ』は、いつも何かに挑戦し続ける『前向きな姿勢や躍動感』、次から次へと、新しいものを生み出す『創造力』や、とちぎの魅力を県内外に発信していく『情報発信力』、そして未来に対する『期待感』をあらわしたものです。





## 「とちぎ元気プラン」策定へ

### 第3回県総合計画懇談会

第3回栃木県総合計画懇談会が、10月19日、県公館で開催されました。懇談会では、平成18年(06年)度から22年(10年)度までの県政運営の基本指針となる新しい総合計画「とちぎ元気プラン」の第二次素案が公表され、今後5か年の具体的な取組などについて活発な意見交換が行われました。「とちぎ元気プラン」は、18年1月の第4回懇談会を経て2月に正式決定され、4月からスタートします。



## 香港で日本の観光・物産を紹介

### 「日本の祭2005」に出席

10月22日、23日の2日間、香港の銅羅湾(コーズウェイベイ)ビクトリアパークで「日本の祭2005」が開かれ、3万5000人の人々に

ざわいました。このイベントは、香港と日本の相互理解と友好関係の強化を目的に3年に1度香港で開催されています。期間中、本県のブースでは、県産品が当たる抽選会などを行い、香港の人たちに本県の観光・物産などを広く紹介しました。



## 「地球にやさしく暮らし」をテーマに催し

### クリーンアップフェア

10月22日と23日の2日間、県子ども総合科学館で「クリーンアップフェア2005」が開催されました。このフェアは、地球環境問題や廃棄物問題などについて理解を深めていただくために県が主催したものです。会場では、環境クイズやリサイクル工作、ソーラーカーの試乗などを参加・体験する多くの来場者でにぎわいました。



## 里親や里子の体験談を発表

### 県里親連合会が第50回記念大会

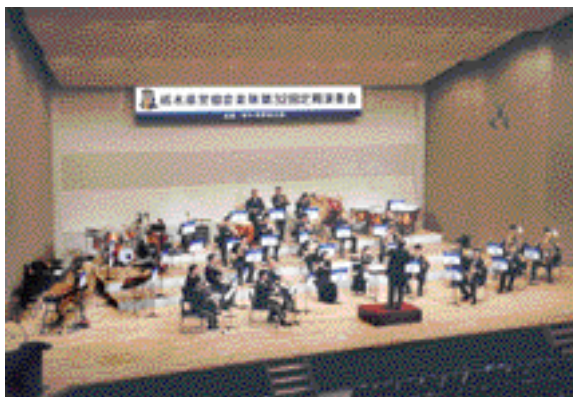
「栃木県里親連合会第50回記念大会」が10月22日に開催されました。大会は、親の病気などさまざまな事情により、家庭に恵まれない児童を家庭的な雰囲気の中で育てる里親制度の普及啓発を図ることを目的としています。この日は、温かい愛情をもって養育に励んできた里親や里親の下で育てられて良かったと感謝する里子の体験発表をはじめ、模範里親や優秀児童の表彰や「社会的養護における里親の役割」と題した講演などが行われました。



## 多彩なゲストで定期演奏会

### 県警察音楽隊

警察音楽隊は、茨城県警察音楽隊、竹林お囃子会、中国鼓弓奏者（高橋雅人氏）、ドラム奏者（青木孝之氏）、エレクトーン奏者（青木弘美氏）など多くのゲストを迎え、3部構成により定期演奏会を10月22日に開催しました。音楽隊は、昭和47年4月に発足して以来県内各地での広報演奏のほか、年1回の定期演奏会を開催しています。





## 不法投棄の根絶を目指し決意宣言 不法投棄防止のつどい

「不法投棄をしないーさせないー許さない!」をテーマに10月27日、鹿沼市内で「不法投棄防止のつどい」が開かれました。この日は、県内の産業廃棄物排出事業者、処理業者、行政機関や廃棄物監視員など、212人が参加しました。代表者から、自然に恵まれた本県の環境を守り後世に伝えていくため、産業廃棄物の不法投棄の根絶を目指すという内容の「決意宣言」が採択されました。



## 広域交流の地域づくりめざして 両毛交流ウォーキング大会

県は10月30日、群馬県と両毛地域13市町村と「両毛交流ウォーキング館林大会」を館林市で開催しました。大会では、両毛地域内外の皆さん約1300人が秋の館林を歩き、交流を深めました。また、福島県、茨城県や関係市町村と「F-I-T交流フェスティバル」を茨城県大子町で開催するなど、隣接県と協力して活力ある地域づくりの推進に努めています。



## 「テロ」防止に向け鉄道、バス事業者と意見交換 公共交通機関等テロ防止対策会議

10月31日、県警察本部で電車などを狙った「爆弾テロ」を未然に防止するための会議が開催されました。関東運輸局栃木県運輸支局、県総務部消防防災課、県警察、鉄道事業者（4社）、バス事業者（4社）などの代表者が出席して意見交換を行い、今後も駅構内や施設内の巡回を強化したり、監視カメラを設置するなど自主警備の強化を図るとともに、安全対策などを継続して推進することを確認しました。

## 次世代青年リーダーを育成 第18回青年の船

「新しい自分に会いに行こう」をメインテーマに、次世代青年リーダー育成事業「第18回栃木県青年の船」が、10月31日から11月8日まで実施されました。青年の船は幅広い視野と国際性を身につけ、地域の青年リーダーを育成することを目的としています。9日間の海外・洋上研修の中で、参加した57名の団員それぞれが新たな発見と今後の目標を持ち、日々精進するとの決意を固めました。21世紀の栃木を担う青年リーダーとしての活躍が期待されます。



## ミルクの国にみんな大集合 ファームフェスタ2005

「とちぎファームフェスタ2005」(第12回全日本ホルスタイン共進会・第4回全日本ジャージー共進会)が、「ミルクの国宣言!」をテーマに11月3日から6日まで壬生町で開催されました。バター作り体験や搾

乳体験のほか、酪農を題材とした県民参加ミュージカル、ジャズフェスタなどもあわせて行われ、家族連れなど68万9000人の来場者でにぎわいました。また、共進会では、全国から集まった363頭の乳牛が日本一を目指して競い合い、本県出場牛も準名譽賞を受賞するなど、過去最高の優秀な成果を上げました。





## ラムサール条約湿地に登録

奥日光の湿原

11月8日、アフリカのウガンダで開催された国際会議で「奥日光の湿原」（戦場ヶ原・小田代原・湯ノ湖・湯川の約260㍎）が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録

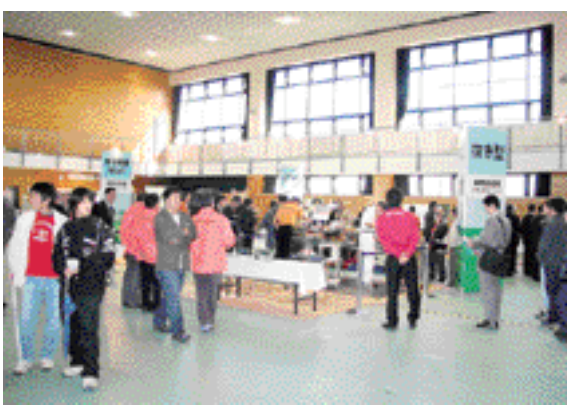
されました。12月10日には、湯ノ湖畔での記念碑除幕式や日光市内での記念式典、シンポジウムなどが開催されました。今後は、県内外の多くの皆様のご理解とご協力を得ながら条約の基本理念である湿原の「保全」と「賢明な利用」を一層推進していくことが重要になります。



## 熟練の技を披露

とちぎものづくりフェスタ

11月12日に県立県央高等産業技術学校で「とちぎものづくりフェスタ2005」が開催されました。このフェスタでは、熟練した技能が伝わりだすエネルギーを若者に伝えることを目的に、とちぎマイスターや技能五輪出場者によるデモンストレーションや、若年技能者が日頃の訓練の成果を競い合う技能競技大会などが実施されました。また、一般の方が参加できるものづくり体験教室も行われ、当日は多くの来場者でにぎわいました。





## 男女共同参画の活動成果を発表

「パルティ」が開館10周年

男女共同参画推進の拠点施設「パルティとちぎ男女共同参画センター」が開館10周年を迎え、11月12日に記念式典と作家の落合恵子さんによる記念講演が行われました。会場では、団体やグループによる活動成果の発表やさまざまなイベントも行われ、多くの来場者が開館10周年を祝いました。



## 新技術・新製品を一堂に展示

「とちぎ産業フェア」知的財産フェア

11月17日から19日までの3日間、新技術や新商品などさまざまな製品を一堂に展示紹介する「とちぎ産業フェア2005」がマロニエプラザ（宇都宮市）で開催されました。会場には、発注情報を提供するコーナーや取引拡大を目的とした相談コーナー、県内6大学による産学官連携コーナーなどが設置され、ロボットのデモ走行も行われました。また、「知的財産フェア」が同時開催され、知的財産に関する展示・紹介や、弁理士によるセミナーなど多彩な催しが行われました。



## 鬼怒川左岸地域の経済・産業を支える

「真岡バイパス」が開通

一般国道408号鬼怒テクノ通りの一部を構成する真岡バイパスが、11月18日に暫定2車線で開通しました。同バイパスは現在建設中の真岡北バイパス、真岡宇都宮バイパスと一体となって、周辺の工業団地群から北関東自動車道、真岡インターチェンジ（仮称）へのアクセスが容易になり、地域の経済・産業活動の活性化が期待されています。





## 文化祭でこころの交流

カルフルとちぎ2005

11月23日と24日、障害者文化祭「カルフルとちぎ2005こころのつどい」が開催されました。両日とも好天に恵まれ、2日間で1万5000人の来場者でにぎわいました。文化祭には県内各地の障害者の方が多数参加し、日頃の文化活動の成果を発表しました。また、多くの人が障害者と一緒にイベントに参加するなどして心の交流を深め、広く障害者の福祉について理解と関心を深めてもらうことができました。



## 美しい景観づくりを推進

県マロニエ建築・景観賞

栃木県マロニエ建築・景観賞の表彰式が、11月29日県総合文化センターで行われました。同賞の建築文化部門に「白鷗大学はくおう幼稚園おもちゃライブラリー」、人になやさしい建築物部門に「田園風景にとけこむ家」、景観部門に「日光田母沢御用邸前通り」が選ばれました。また、奨励賞に建築物3作品、景観2作品が選ばれました。表彰式終了後には「景観に配慮したまちづくり」をテーマに、宇都宮大学の藤本信義教授による記念講演会が行われました。



## 森林環境税(仮称)の検討始まる

県民協働森づくりに関する有識者会議

「県民協働森づくりに関する有識者会議」の第1回会議が12月15日に県総合文化センターで開催されました。同会議は県民に多くの恩恵を与えてくれる本県の森林を、健全な姿で次の世代に引き継ぐため、県民全体で育て守っていく仕組みを検討するため設置されました。今後は、新たな財源の必要性を始め、その仕組みなどについて検討され、06年7月を目途に提言される予定です。



4月	28 「やすらぎの栃木路」フェア・イン・インディ(30日まで)	
	ク 県立学悠館高校開校記念式典	
	7 県高等学校総合体育大会開会式	
	8 県看護大会	
5月	14 県植樹祭・とちぎグリーンフェア(益子町)	
	16 とちぎ地産地消県民運動実行委員会総会	
	17 政党間両院協議会委員に要望活動(国会等移転先候補地共同事業)	
	24 農林水産ニッポンブランド輸出促進都道府県協議会	
	26 第2回農政審議会	
	27 「ねんりんピック2005」開催(29日まで)	
	ク 「やすらぎの栃木路」九州キャンペーン(28日まで)	
	ク 酪農とちぎ農業協同組合那須高原クーラーステーション稼働	
	29 環境美化キャンペーン	
	1 不法投棄パトロール出発式	
6月	6 リズムスクールが愛知万博・ジャパンデーに出演	
	11 県民の日記念行事(真岡市・井頭公園)(12日まで)	
	ク とちぎ木の県推進大会(12日まで)	
	12 県民の日制定20周年記念行事(オペラ「日光」上演)	
	13 県立文書館常設展をリニューアルオープン	
	15 県民の日記念式典	
	17 愛・地球博「栃木県の日」(愛知県)	
	18 とちぎ「県民カレッジ」開講式	
	24 安全で安心なまちづくりフォーラム	
	25 「みんなの森」下刈活動(矢板市・県民の森)	
	26 男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	
	27 県食品表示ウォッチャー委嘱式	
	2 発達障害者支援センター「ふぉーゆう」開所	
	4 「やすらぎの栃木路」大阪キャンペーン(6日まで)	
7 「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会		
8 交通安全子供自転車栃木県大会		
7月	11 本県関係国会議員と知事との懇談会開催(東京都)	
	15 「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン(17日まで)	
	23 「ワクワク夢体験の船」が出版(7月28日まで)	
	28 栃木県食育推進ボランティア登録式	
	30 「みんなの森」下刈活動(矢板市・県民の森)	
	31 夏の省エネキャンペーン	
	・ いちご、なし、水稲などホープがつつぎ登場	
	2 水の週間行事「水の講演会」	
	8月	5 茨城・栃木・群馬・新潟・福島 5 県知事会議(福島県いわき市)
		ク 21世紀FIT構想推進協議会総会



1月	14 バイオマス利活用シンポジウム開催
	20 3候補地8府県知事と政党間両院協議会委員との懇談会開催(国会等移転先候補地共同事業)
	20 「とちぎ夢大地応援団」設立
	23 「とちぎNPO・ボランティアがめざす未来」フォーラム
2月	27 県民防災の集い
	30 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会(本県選手団を山梨県・青森県に派遣)(2月6日まで)
	・ とちぎブランド農産物の輸出
	・ 県農業士、女性農業士、名誉農業士併せて23人を認定
	5 県文化振興大会(真岡市)
	ク ウェルカム・イン・とちぎ
	6 男女共同参画地域連携フォーラム(今市市)
	10 第1回農政審議会
	ク 都市計画道路沼和田川原田線が開通(栃木市)
	11 エコテックとちの環2005(12日まで)
3月	13 栃の葉国体記念「第22回健康マラソン大会」
	14 食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション
	15 第2回県総合計画懇談会
	17 緑化関係表彰式
	19 とちぎ花フェスタ2005inおやま
	22 新県庁舎見直し方針公表
	ク 国民体育大会冬季大会スキー競技会(本県選手団を岩手県に派遣)(25日まで)
	15 「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン(17日まで)
	19 父親の育児参加の促進シンポジウム
	23 「協働・人がつながるとちぎの未来」シンポジウム
31 都市計画道路黒磯那須北線(豊浦工区)が部分開通(那須塩原市)	
4月	1 福祉サービスの第三者評価制度開始
	7 県立日光明峰、益子芳星高校開校式
	14 都市計画道路大谷川右岸線が全線開通(日光市)
	17 栃木県・インディアナ州姉妹提携5周年記念展 インディアナポリス美術館名品展開催(県立美術館)
	18 本県関係国会議員と知事との懇談会
	22 旅フェア2005(千葉県)(24日まで)
	25 日光だいや川公園 文化・創作体験施設エリア開園(日光市)
27 市町村長会議	

## 10月

- 22 国民体育大会秋季大会(本県選手団を岡山県に派遣)(27日まで)
- 23 クリーンアップフェア2005(24日まで)
- ク 消費者フォーラム(小山市)
- 27 不法投棄防止のつどい
- 28 県児童生徒発明工夫展覧会(30日まで)
- ク 浙江省知事訪問(11月1日まで)
- 31 次世代青年リーダー育成事業(海外・洋上研修「県青年の船」)(11月8日まで)

## 11月

- 1 都市計画道路小山結城線が開通(小山市)
- 3 とちぎファームフェスタ2005(6日まで)
- 7 県文化功労者表彰式
- 8 「奥日光の湿原」ラムサール条約湿地に登録
- 12 「フェスタinパルティ」とちぎ男女共同参画センター10周年記念式典(13日まで)
- 12 とちぎ“ものづくりフェスタ”2005
- ク 環境と調和のとれた農業生産推進講演会
- ク 「とちぎ教育振興大会」
- 15 とちぎ子ども救急電話相談開始
- ク 第22回全国スプレーぎく栃木大会
- 17 交通安全県民大会
- ク 「とちぎ産業フェア2005」「知的財産フェア」(19日まで)
- ク 「とちぎデザイン大賞」展示会(19日まで)
- 19 「県子ども読書活動推進フォーラム」(那須塩原市)
- 23 県障害者文化祭「カルフルとちぎ2005こころのつどい」(24日まで)
- 24 県きのこ・わさび展示品評会(25日まで)
- 25 「とちぎマーケティング戦略2005」(東京都)
- 26 「アミークスフェスティバル」(27日まで)
- 28 県職業能力開発促進大会
- ク 中国観光プロモーション事業(浙江省 上海市)(12月5日まで)
- ク 県農業担い手躍進大会
- 29 第17回県マロニエ建築・景観賞表彰式と記念講演会
- ク 「ジュニア知事さん」表彰式

## 12月

- 1 県森林・林業コンクール表彰式
- 2 地球温暖化防止月間行事「エコライフフォーラム」
- 4 協働で拓くとちぎの未来フォーラム
- 8 「とちぎベンチャーサポートプラネット21」5周年記念行事
- 15 第1回県民協働森づくりに関する有識者会議
- 19 新県庁舎見直し完了
- 20 県芸術祭表彰式

## 8月

- 20 JR宇都宮駅開業120年記念&とちぎまつり(21日まで)
- 26 政策懇談会
- 30 映画と講演のつどい
- 31 県民福祉のつどい

## 9月

- 1 「やすらぎの栃木路」特別観光キャンペーン(12月31日まで)
- 2 県民ミュージカル「ひとしずくのミルク」上演(3日まで)
- 4 県・栃木市総合防災訓練(栃木市)
- 6 「第60回東京インターナショナル・ギフト・ショー」出展(9日まで)
- 9 救急医療週間記念大会
- ク 県公衆衛生大会
- ク 国民体育大会夏期大会(本県選手団を岡山県に派遣)(13日まで)
- 12 児童虐待に関するシンポジウム
- ク 第3回農政審議会
- 13 県指導林業士・名誉林業士認定式
- 15 「交通安全の火」分火式
- 17 県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル
- 19 もくもくまつり2005(宇都宮市ろまんちっく村)
- 24 県芸術祭(11月23日まで)
- 27 「やすらぎの栃木路」新宿駅西口フェア(30日まで)

## 10月

- 1 人権啓発フェスティバル栃木会場「ヒューマンフェスタとちぎ2005」(2日まで)
- 2 女性の海外研修(11日まで)
- 4 県地球温暖化防止活動推進員・委嘱式
- 5 県広域消防応援訓練(小山市)
- 6 県発明展覧会(8日まで)
- 8 第1回県障害者スポーツ大会
- ク とちぎインターナショナル・フェスティバル2005
- ク とちぎグリーンフェスタ・だいや川(16日まで)
- 14 県伝統工芸品展(16日まで)
- ク 県農業大学校100周年記念式典開催
- ク とちぎ住宅フェア2005(16日まで)
- 15 県技能展(16日まで)
- ク 第23回県花と緑と公園のつどい(壬生町)
- 16 「コンセル・マロニエ21」表彰式
- 17 県営土地改良事業の換地業務に係る表彰式
- 18 とちぎ地産地消費大賞を表彰(11月6日まで)
- 20 とちぎ立地企業と知事との懇談会(東京都)
- 22 里親連合会第50回記念大会(宇都宮市)
- ク 「日本の祭2005」開催(香港)(23日まで)
- ク みんなの森育樹活動(矢板市・県民の森)